

令和6年度第1回市政モニターアンケート結果

テーマ 「ユニバーサルデザインについて」

- (1) 目的 相模原市では、「誰もが安全でいきいきと暮らせる安心福祉都市」の目標のもとユニバーサルデザインを推進してきました。
- 障害の有無、年齢、性別、人種にかかわらず多様な人々が利用しやすいよう都市や生活環境をデザインするというユニバーサルデザインの考えに基づいて市の施策や事業を進めていき、「すべての人にやさしい都市・さがみはら」の実現を目指しています。
- 今回の調査は、相模原市にお住まいの皆様へユニバーサルデザインについての意識調査やご意見などをお伺いし、今後の本市のユニバーサルデザインを推進する上での基礎資料として活用するためにアンケートを実施したものです。
- (2) 回答者数 146人
- (3) 調査期間 令和6年6月24日（月）から7月12日（金）まで
- (4) 結果要約 問22では、約80%の方がユニバーサルデザインについて知っており、問26では、深く知りたいと答えた方が78%という結果でした。
- ユニバーサルデザインについて知っている方は具体例も多く回答している傾向です。公共施設や道路等ハード面についてユニバーサルデザインを取り組むべきと考える方、教育や考え方等ソフト面についてユニバーサルデザインの普及を考える方が多い結果でした。

※表、グラフ内の数字は回答者数を基数とした百分率で表わし、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。

※問7～問11の「図書館サービスについて」及び問12～問21の「消費生活に関する市民意識について」は別途掲載します。

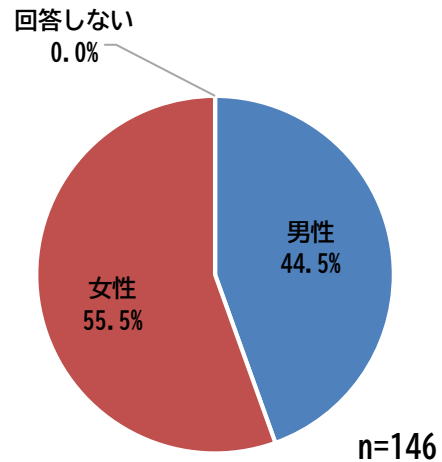
調査結果

【基本的項目について】

【問1】あなたの性別をお伺いします。（回答は1つ）

1 男性	2 女性	3 回答しない
------	------	---------

選択肢	回答数	回答分布
男性	65	44.5%
女性	81	55.5%
回答しない	0	0.0%
計	146	100.0%

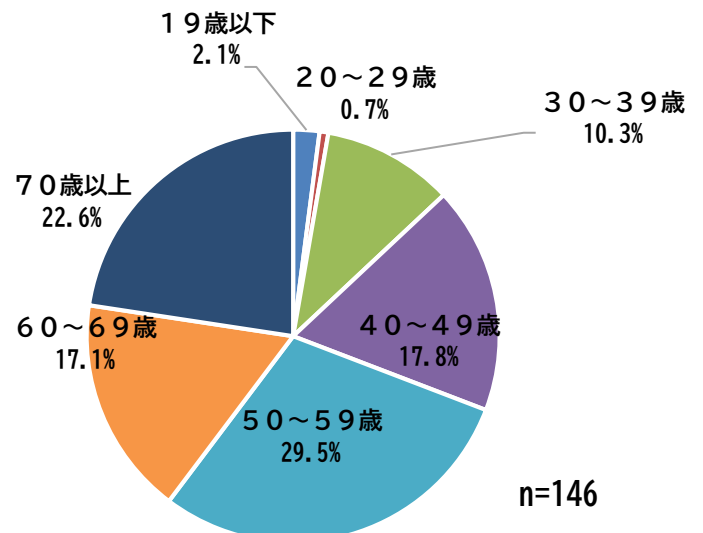


☆回答された方の性別は以上のとおりです。

【問2】あなたの年齢をお伺いします。（回答は1つ）

1 19歳以下	4 40～49歳	7 70歳以上
2 20～29歳	5 50～59歳	
3 30～39歳	6 60～69歳	

選択肢	回答数	回答分布
19歳以下	3	2.1%
20～29歳	1	0.7%
30～39歳	15	10.3%
40～49歳	26	17.8%
50～59歳	43	29.5%
60～69歳	25	17.1%
70歳以上	33	22.6%
計	146	100.0%

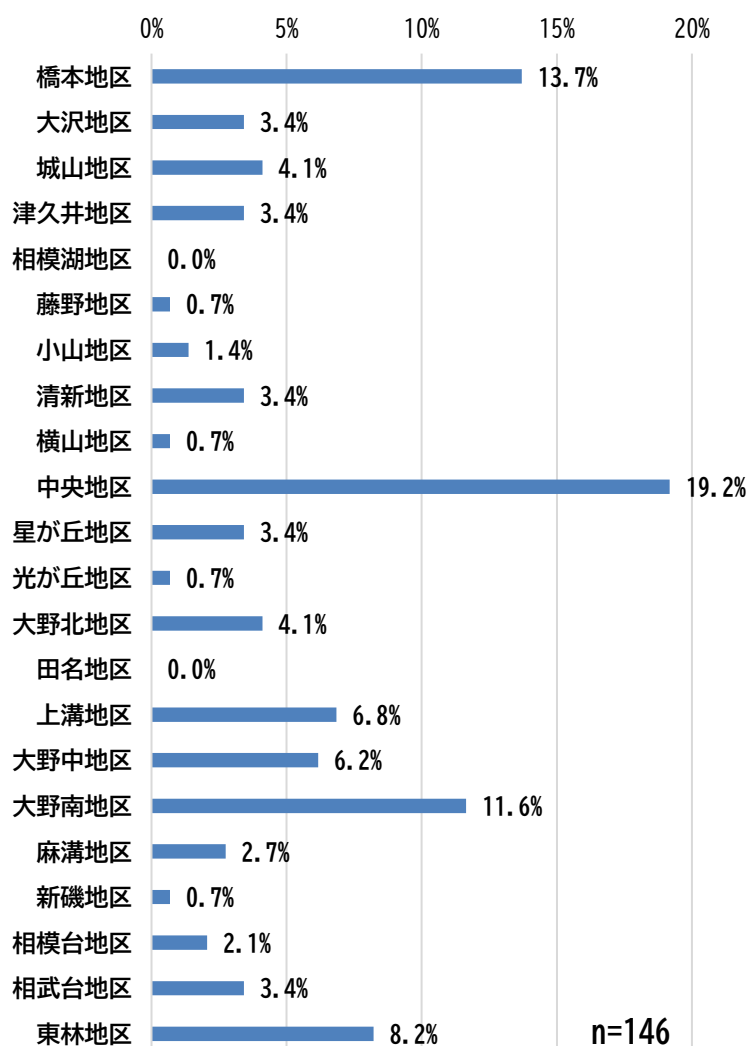


☆回答された方の年齢層は以上のとおりです。

【問3】あなたのお住まいの地区をお伺いします。（回答は1つ）

緑区	中央区	南区
1 橋本地区	7 小山地区	16 大野中地区
2 大沢地区	8 清新地区	17 大野南地区
3 城山地区	9 横山地区	18 麻溝地区
4 津久井地区	10 中央地区	19 新磯地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	20 相模台地区
6 藤野地区	12 光が丘地区	21 相武台地区
	13 大野北地区	22 東林地区
	14 田名地区	
	15 上溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	20	13.7%
大沢地区	5	3.4%
城山地区	6	4.1%
津久井地区	5	3.4%
相模湖地区	0	0.0%
藤野地区	1	0.7%
小山地区	2	1.4%
清新地区	5	3.4%
横山地区	1	0.7%
中央地区	28	19.2%
星が丘地区	5	3.4%
光が丘地区	1	0.7%
大野北地区	6	4.1%
田名地区	0	0.0%
上溝地区	10	6.8%
大野中地区	9	6.2%
大野南地区	17	11.6%
麻溝地区	4	2.7%
新磯地区	1	0.7%
相模台地区	3	2.1%
相武台地区	5	3.4%
東林地区	12	8.2%
計	146	100.0%

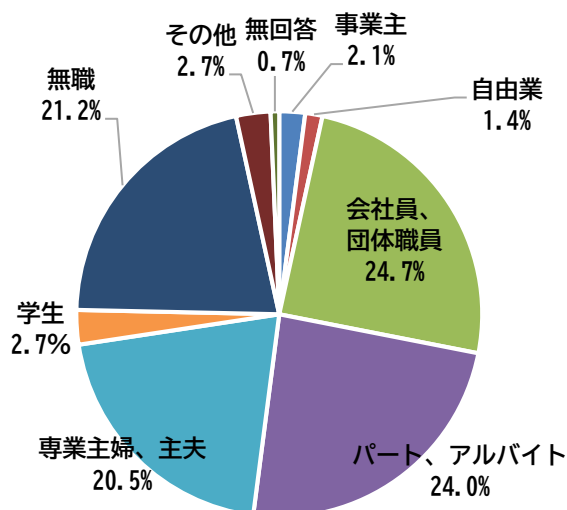


☆回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

【問4】 あなたの職業をお伺いします。(回答は1つ)

1 事業主	5 専業主婦、主夫
2 自由業	6 学生
3 会社員、団体職員	7 無職
4 パート、アルバイト	8 その他 ()

選択肢	回答数	回答分布
事業主	3	2.1%
自由業	2	1.4%
会社員、団体職員	36	24.7%
パート、アルバイト	35	24.0%
専業主婦、主夫	30	20.5%
学生	4	2.7%
無職	31	21.2%
その他	4	2.7%
無回答	1	0.7%
計	146	100.0%



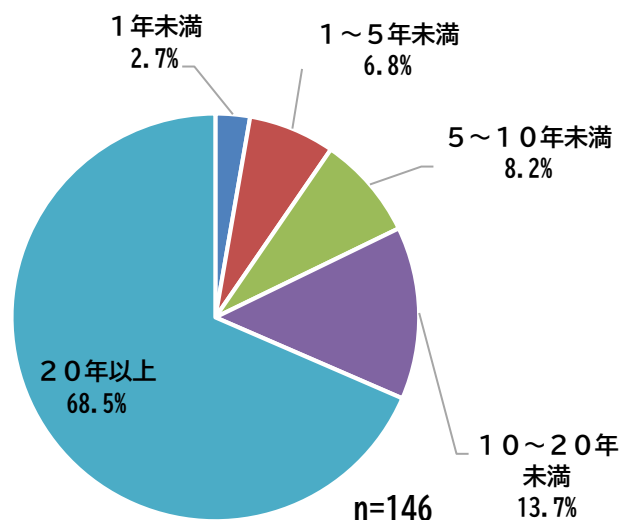
☆回答された方の職業は以上のとおりです。

n=146

【問5】 あなたは相模原市に住んで何年になりますか。(回答は1つ)

1 1年未満	4 10～20年未満
2 1～5年未満	5 20年以上
3 5～10年未満	

選択肢	回答数	回答分布
1年未満	4	2.7%
1～5年未満	10	6.8%
5～10年未満	12	8.2%
10～20年未満	20	13.7%
20年以上	100	68.5%
計	146	100.0%



☆回答された方の居住年数は以上のとおりです。

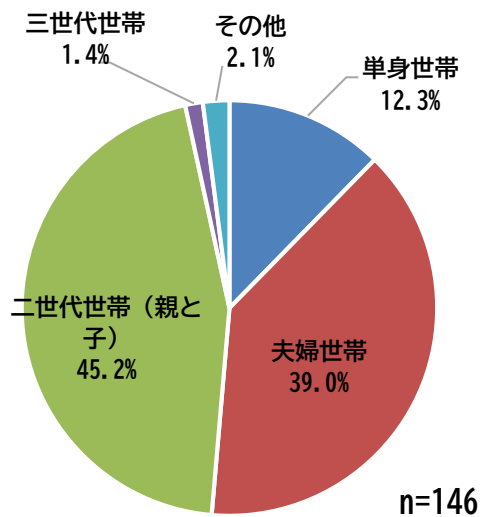
n=146

【問6】あなたの家族構成をお伺いします。(回答は1つ)

- | | |
|----------------|---------|
| 1 単身世帯 | 4 三世代世帯 |
| 2 夫婦世帯 | 5 その他 |
| 3 二世世代世帯 (親と子) | |

選択肢	回答数	回答分布
単身世帯	18	12.3%
夫婦世帯	57	39.0%
二世世代世帯 (親と子)	66	45.2%
三世代世帯	2	1.4%
その他	3	2.1%
計	146	100.0%

☆回答された方の家族構成は以上のとおりです。

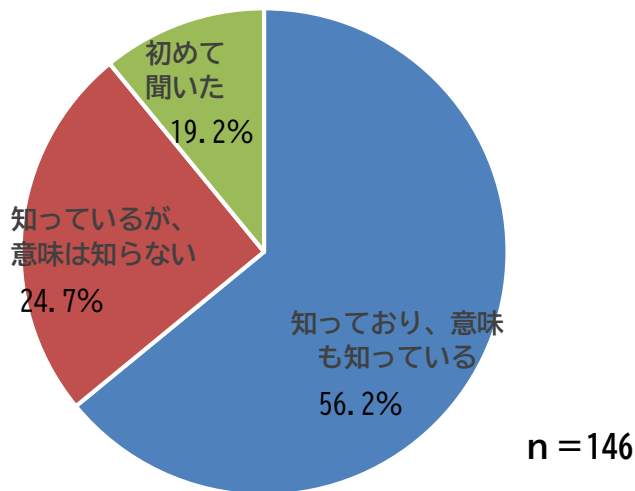


【問 22】

あなたは、ユニバーサルデザインを知っていますか。

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 知っており、意味も知っている | 3 初めて聞いた(問26へ) |
| 2 知っているが、意味は知らない | |

選択肢	回答数	回答分布
知っており意味も知っている	82	56.2 %
知っているが、意味は知らない	36	24.7 %
初めて聞いた	28	19.2 %
合計	146	100.0 %



☆ユニバーサルデザインを知っている人が 80.9%、その中で意味も知っているという人が 56.2%、意味は知らないと答えた人が 24.7%でした。また、初めて聞いた方は 19.2%という結果でした。

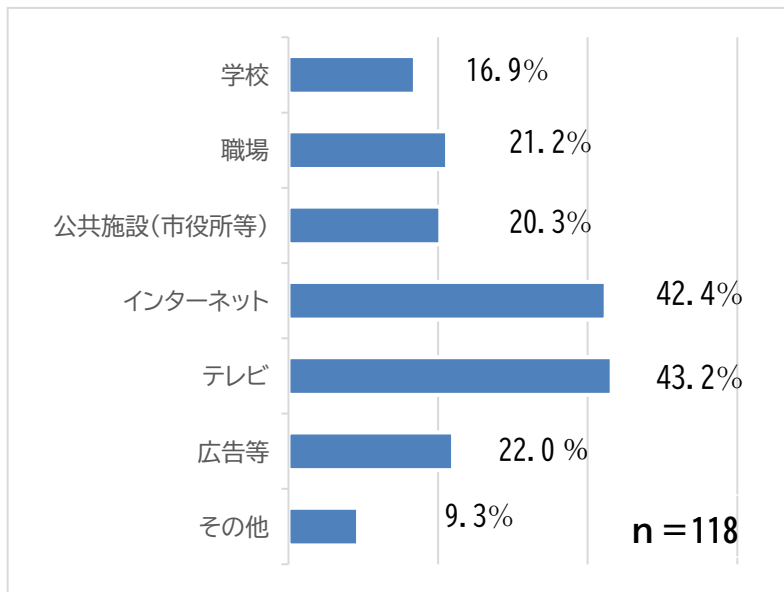
【問 23】

あなたはどこでユニバーサルデザインを知りましたか。(回答はいくつでも)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1 学校 | 5 テレビ |
| 2 職場 | 6 広告等 |
| 3 公共施設(市役所等) | 7 その他(具体的に:) |
| 4 インターネット | |

選択肢	回答数	回答分布
学校	20	16.9 %
職場	25	21.2 %
公共施設(市役所等)	24	20.3 %
インターネット	50	42.4 %
テレビ	51	43.2 %
広告等	26	22.0 %
その他	11	9.3 %

※問 22 にて「初めて聞いた」と回答した
28名は除く



その他 内訳

- ・資格取得時
- ・知人にユニバーサルデザインについて研究、勉強している人がいる
- ・本、雑誌、新聞
- ・家族との会話
- ・常識
- ・なんとなく知っている 等

☆テレビが 43.2%と一番多く、次いでインターネットが 42.4%、広告等が 22.0%という結果になりました。

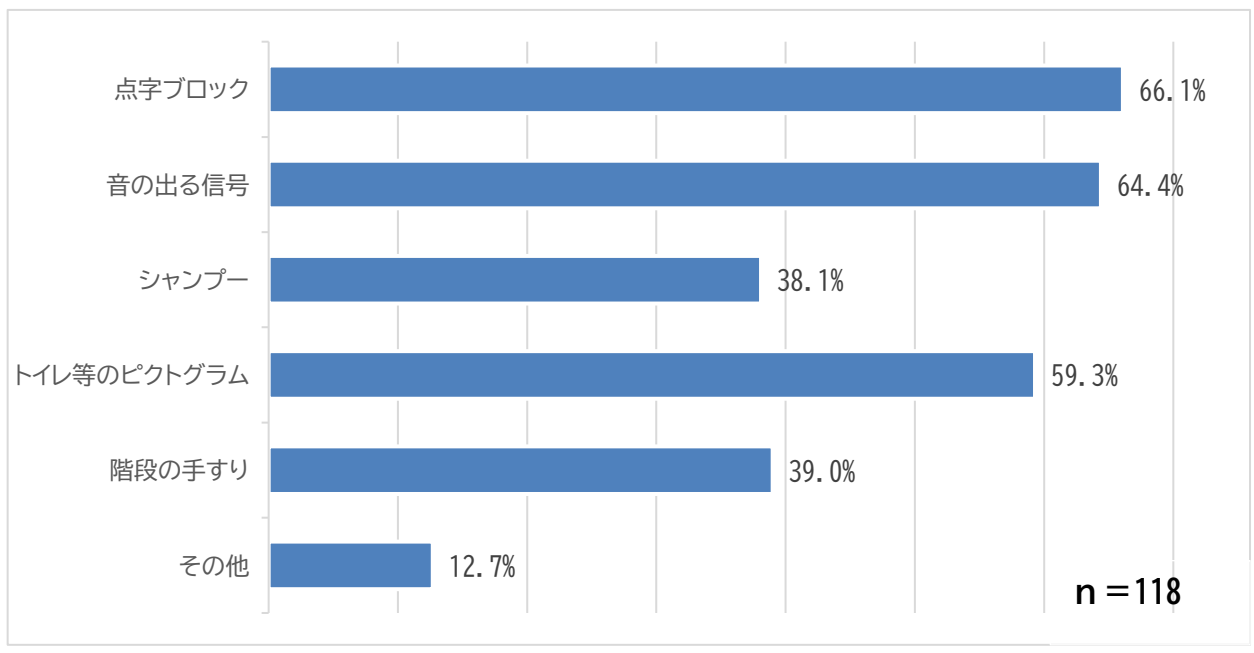
【問 24】

あなたは、ユニバーサルデザインと聞いて何を思い浮かべますか。(回答はいくつでも)

- | | |
|----------|---------------|
| 1 点字ブロック | 4 トイレ等のピクトグラム |
| 2 音の出る信号 | 5 階段の手すり |
| 3 シャンプー | 6 その他(具体的に:) |

選択肢	回答数	回答分布
点字ブロック	78	66.1 %
音の出る信号	76	64.4 %
シャンプー	45	38.1 %
トイレ等の ピクトグラム	70	59.3 %
階段の手すり	46	39.0 %
その他	15	12.7 %

※問 22 にて「初めて聞いた」と回答した
28 名は除く



- その他 内訳
- ・人感センサー蛇口
 - ・多目的トイレ、多機能トイレ
 - ・食器類(高齢者用のお箸、先割れスプーン)
 - ・都営地下鉄線の配色
 - ・資料の配色
 - ・公園の遊具
 - ・非常口
 - ・自動ドア

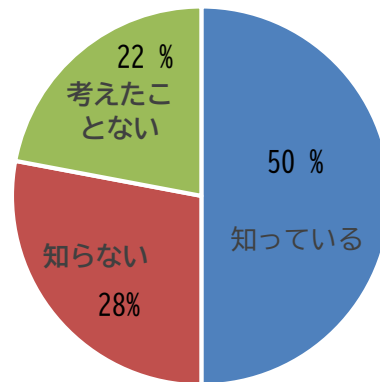
☆点字ブロックが 66.1%で一番多く、次いで音の出る信号が 64.4%、トイレ等のピクトグラムが 59.3% という結果になりました。

【問 25】

あなたはユニバーサルデザインとバリアフリーの違いを知っていますか。(回答は1つ)

1 知っている	2 知らない	3 考えたことない
---------	--------	-----------

選択肢	回答数	回答分布
知っている	59	50.0 %
知らない	33	28.0 %
考えたこと がない	26	22.0 %
合計	118	100.0 %



n = 118

※問 22 にて「初めて聞いた」と回答した
28 名は除く

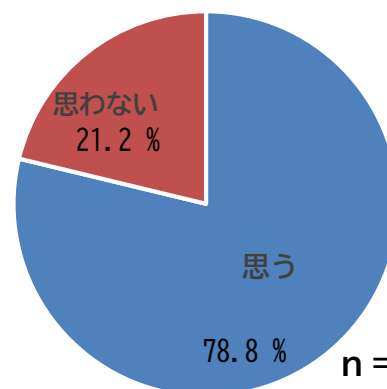
☆知っていると答えた方が 50%、知らないと答えた方が 28%、考えたことがないが 22%という
結果になりました。

【問 26】

あなたはユニバーサルデザインを深く知りたいと思いますか。(回答は1つ)

1 思う	2 思わない
------	--------

選択肢	回答数	回答分布
思う	115	78.8 %
思わない	31	21.2 %
合計	146	100.0 %



n = 146

☆「思う」が 78.8%、「思わない」が 21.2%という結果になりました。

【問 27】

ユニバーサルデザインの考え方を優先的に取り入れていくべき分野は何だと思いますか。

(自由回答)

(多数いただいた回答から抜粋して掲載。)

<ハード面 (施設・道路) >

子供が利用できる遊び場や、公共施設。身体障害だけでなく発達障害の子が増えているので、発達障害の子でも遊べる遊び場。 淵野辺公園の事故があったように遊具があるとリスクがあるので、銀河の森プレイパークのような場を守る人がいて、森で遊べる場所が増えたらいろんな子が楽しめると思う。実際発達障害の子がよく遊んでいる。
人々が生活しやすい環境の為に居食住の中で特に住環境 (住みやすい環境づくりの為のデザイン作り) の徹底であると考えます。
道路案内標識の外国語表記や、道路標示のグリーンベルト等、いつの間にか変更になっていたりしますが、公共性の高い分野、例えば交通機関等を優先して欲しいと思います。特に、歩道における自転車通行可否 (原則NGを前提に) が分かり辛いものがあります。
道路、公共施設、病院、公共交通機関、ショッピングセンターなど
分野としては、皆がよく使う公共の場所など。例として、公園、緑道、歩道、信号、駅など多くの人目に付いて、デザインしたと分かる場所から順に。
少子高齢化に伴い人手不足が予想され、脱人手作業化が進められています。配膳ロボット、自販機、無人レジ等、身近にも多くなっています。人手不足に悩まされている分野こそ、優先してユニバーサルデザインの考え方を取り入れるべきと考えます

<ソフト面 (教育・考え方) >

それを知る機会(分野)を生活環境のなかで身近に欲しい
大人も子供も人々の違いを認め合い勝手にその違いを解釈し区別することがない教育をするべきだと思います。
外国への理解を深めるコミュニティ
学校。子どもたちがユニバーサルデザインについて身を持って知ることができるし、平等に学べるから
市民や県民、国民の意識の向上だと感じている。知ることや興味を持つことが必要だと思うから。
広告の分野と思います。 ユニバーサルという言葉さえ、はずかしながら知らなかったのです。
ノーマライゼーションの考え 障害をもつ人ともない人平等に生活する社会の実現いつ誰でも障害者になってしまうかもしれない (高齢化社会に伴い車イスや歩きにくさや目・耳等 e t c) 偏見のない社会の実現の為考え方をぜひ広めて欲しい。

今後の活用

今回のアンケート結果ではユニバーサルデザインの認知度等について貴重な回答を得るとともに、ユニバーサルデザインを取り入れていくべき分野について、様々なご意見を伺うことができました。今後はこのデータを活用し、ユニバーサルデザインの普及・啓発に取り組んでまいります。

このアンケートに関するお問い合わせは、こちらへお願いいたします。

相模原市 健康福祉局 地域包括ケア推進部 地域包括ケア推進課

電話 042-769-9222(直通)

〒252-5277 相模原市中央区中央 2-11-15